

# 日本に戦争の危険

## 宗教者ら 政府の大軍拡阻止訴え

岸田文雄政権の大軍拡を阻止するアピール行動が27日、東京・渋谷駅前で行われ、約25人が参加しました。

日本キリスト者協議会総幹事の金性済（キム・ソンジエ）さんは、岸田首相が北大西洋条約機構（NATO）首脳会合に出席しようとしていることについて、「NATOの

拡張が戦争の危機へ向かっている。日本が危険な戦争へのわなに引きずりこまれている」と批判。「戦争を通して誰がもうけているのか。危険な政治を直視し戦争反対を唱えよう」と呼びかけました。

マイクを握り訴えた都内の男性（64）は、日本における子どもの自殺が多いことを紹介し、「おとながそういう国をつくってきた反省と子どもや若者を抑

圧する政治に対する怒りをもって行動している」と述べました。

日本カトリック正義と平和協議会事務局の昼間範子さん（60）は、日本政府の軍拡は力の無駄遣いと批判。「強い武器を持って戦争は終わらない。人類が終わってしまうだけだ」と話しました。

戦争反対を訴える宗教者の人たち 27日、東京・渋谷駅前

